

精神障がい者の就労定着を 支援する「SPIS」

関西ネットワークシステム 定例会 in さかい
2013年08月10日(土)

有限会社奥進システム

「SPIS」というサービスをご紹介します

- 「エスピス」と読んでください。
- 「SPIS」は精神障がいや発達障がいの方、お休みから復職した方などの職場での状態を把握しやすくし、声がけなどのコミュニケーションを促進するツールです。
- 2012年7月に提供を開始しました。
- もとは、精神障がいを持つ社員の職場定着支援のために開発したものです。
- NPO法人大阪精神障害者雇用支援ネットワーク(JSN)の協力をいただきました。

奥進システムが開発しました

- 大阪市中央区にあるシステム開発会社です。
- 最寄駅は谷町四丁目です。
- 2000年2月に設立しました。
- 従業員は7名です。
- 主に中小企業さんの業務管理システムを開発しています。
- 福祉施設向けのシステム開発やサービス提供もしています。
- 重度障害者多数雇用事業所です（従業員の5名が障がい者で
そのうち3名は重度）

こんな雰囲気です仕事をしています

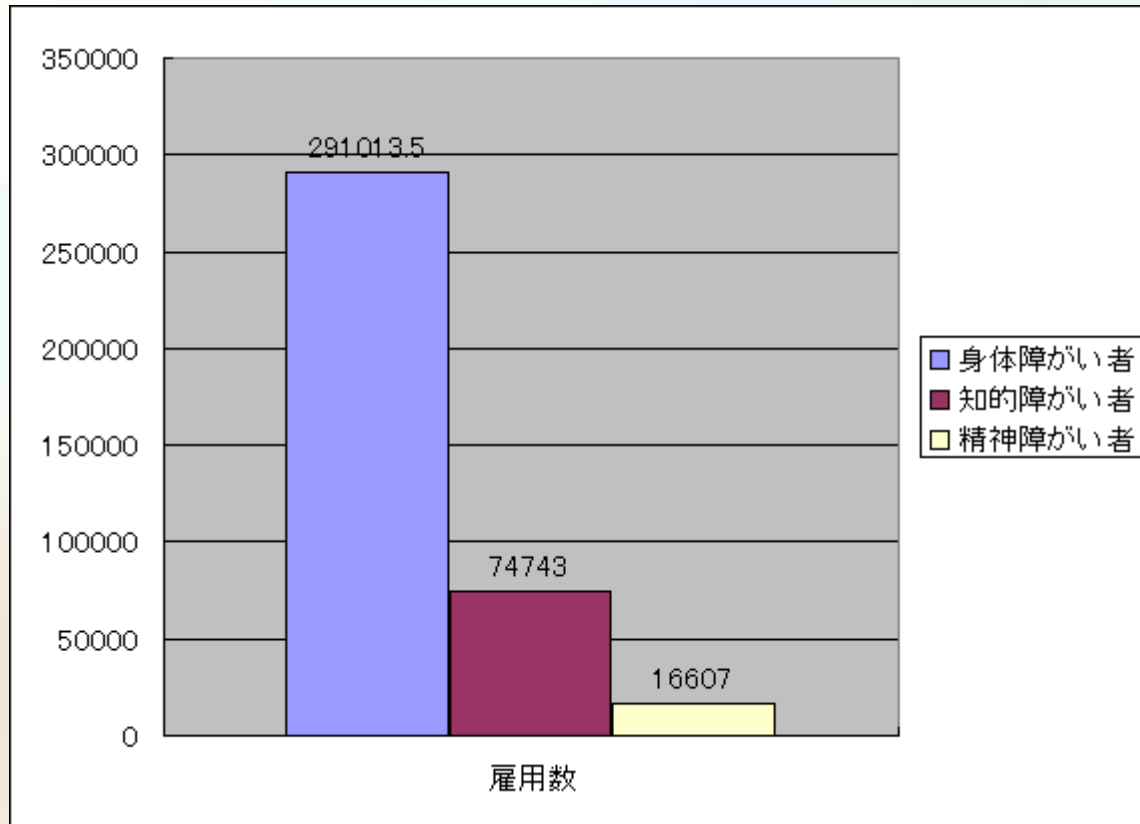


会社代表が出張中で、すいません



代表取締役 奥脇 学

背景 - 障がい者の雇用問題



民間企業（社員56人以上の規模）で雇用されている精神障がい者数は、雇用されている障がい者全体の4.3%。

（平成24年度厚生労働省資料より）

動機 – 精神障がい者の雇用促進

- 三障がいの中でも、精神障がい者は長期にわたる雇用が難しいとされています。
- その理由は、雇用管理の難しさだと言われます。
- 例えば、突然調子を崩して休んだりするけれど、理由がよくわからない場合が多く、対応しにくいと言われます。
- 奥進システムでは、支援してくれる機関と連携しながら、SPISを運用して精神障がい者の長期雇用を実現しています。
- SPISを他の企業に使ってもらえば、精神障がい者の雇用促進が実現するかもしれないと考えました。

内容 - 「SPIS」って、どんなもの？

- 日報をつけるシステムです。
- 項目が、個々人でカスタマイズできます。
→どんなことを観察すればいいのかを、障がいの
特性に合わせて、評価項目として用意することができます。
- 日報のデータを集めて、グラフ化します。
→グラフにすることで、調子のよしあしを「見える」化します。
- 蓄積された日報データを分析することで、その人の調子が
上下する傾向をつかむ手立てになります。

日報入力画面サンプル

2013/07/01

出欠

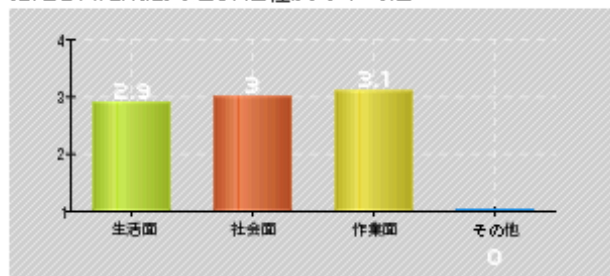
☒ 出席
 ☐ 欠席

服薬の有無	☒ 前夜 ☒ 朝 ☐ 昼 ☐ 頓服		
就寝時間・起床時間	22:00 ~ 05:30		
自己評価	ジャンル	評価項目	評価 よくない <-----> よい
	生活面	幻聴	1 2 3 4
	生活面	知覚過敏	1 2 3 4
	生活面	しんどさ	1 2 3 4
	社会面	思考などが阻害されてうまく反応できない	1 2 3 4
	作業面	作業は集中して取り組めた	1 2 3 4
	作業面	次の日に疲れを残さない工夫ができた	1 2 3 4
	作業面	必要に応じて他人の仕事を助けた	1 2 3 4
	作業面	自分の仕事を手伝ってもらった	1 2 3 4
意見・感想			

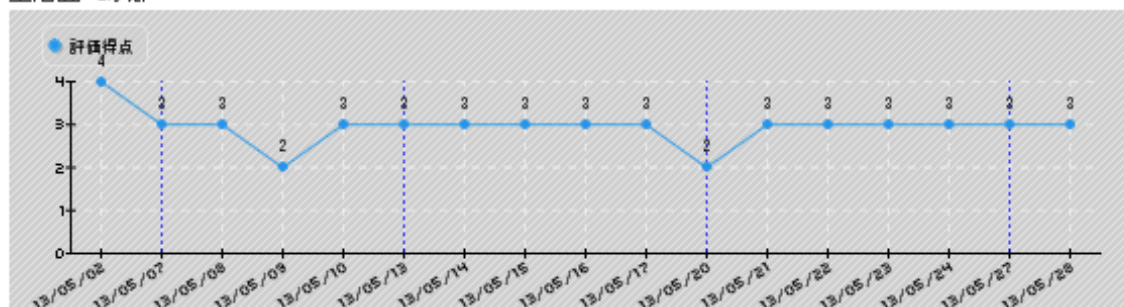
評価項目が自由に
カスタマイズできます。

グラフ画面サンプル

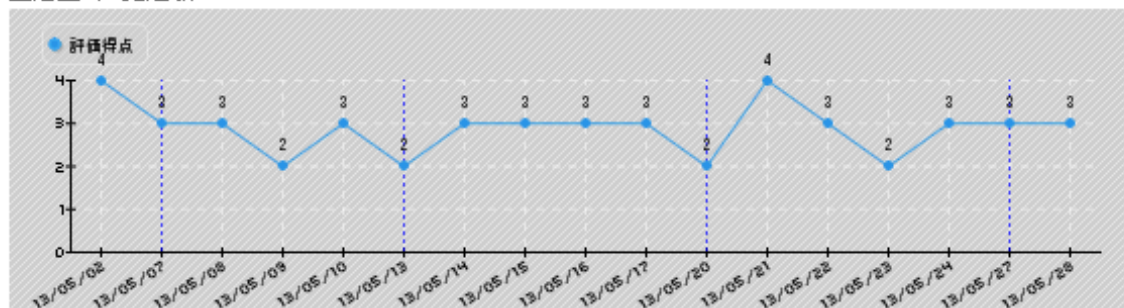
指定された期間の各評価種別の平均値



生活面 幻聴



生活面 知覚過敏



折れ線グラフの波を観察すること
調子の上下を判断します。

短期では曜日や天気によって、
また長期によっては季節による変
などが認められるケースがありま

SPISでできること、できないこと

- できること

- 社員の調子を視覚的に把握できます
- 調子が上下する周期を知ることができます
- 上司からの声かけなどのサポートのタイミングを図れます
- 社員側からサポートを求めるサインを出すことができます

- できないこと

- 一方通行の「管理」
- 確実にサポートが必要な状態を見つけること

使い方の例

1. システム導入の説明
2. 社員個々人との評価項目決定
3. 毎日の社員による日報入力
4. 毎日～3日おきの上司による日報確認
5. 日報の内容を使った上司との面談(定期、または必要なとき)
6. 日報の内容を使った産業医などとの面談(必要なとき)
7. 社員個々人との評価項目の見直し(随時)

研究事業が始まります

- NPO法人大阪精神障害者雇用支援ネットワーク(JSN)が、独立行政法人福祉医療機構(WAM)の事業を受託し、国内の福祉施設において精神障がい者の就労継続のための評価システムとして「SPIS」を導入し、その結果をまとめることになりました。
- 事業の開始は9月からで、現在その準備中です。

可能性 – みんなのメンタルヘルスケア

- 「SPIS」は現在、ダイキンサンライズ摂津株式会社にて導入いただいています。
- また、数社で試用いただいているところです。
- 精神障がい者の雇用だけでなく、**うつからの復職支援**や**社員のメンタルヘルスケア**としての可能性がでてきました。
- 評価項目の設定の仕方によって、障がいの有無に関わらず社員のメンタルヘルスケアやモチベーションの維持・向上に役立つのではと検討中です。

詳しい情報はこちらから！

有限会社奥進システム

営業部：今岡由美子 Email : imaoka@okushin.co.jp

〒540-0027 大阪府大阪市中央区鎗屋町2-2-4

TEL 06-6944-3658 FAX 06-6944-3659

SPISのホームページ <http://www.okushin.co.jp/spis/>

当社の障がい者問題への取り組みなどはCSRサイトへ

→ <http://www.okushin.net>

ありがとうございました。